

CPU自動切替器 取扱説明書

SW-CPU4N



最初に
ご確認ください。

セッ
ト内
容

- 切替器本体 1台
- 切替器-パソコン本体接続用ケーブル
..... 4本(1.2m×2本、1.8m×2本)
- 取扱説明書・保証書(本書) 1部

万一、足りないものがございましたら、お買い求めの販売店にご連絡してください。

ご使用前にこのマニュアルをよくお読み下さい。また、
お手元に置き、いつでも確認できる様にしておいて下さい。

デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがございます。
本誌に記載の社名及び製品名は各社の商標又は登録商標です。

サンワサプライ株式会社

はじめに...

この度はCPU自動切替器SW-CPU4N(以後、本製品と表記)をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
本製品は、1組のキーボード・マウス・モニターで4台のPCを切り替えて使用するための切替器です。
本マニュアルは、本製品を正しくご使用いただくための取扱い方法、使用上の注意等について説明するものです。
なお、お読みになった後も本書はお手元に置いてご使用ください。

特長

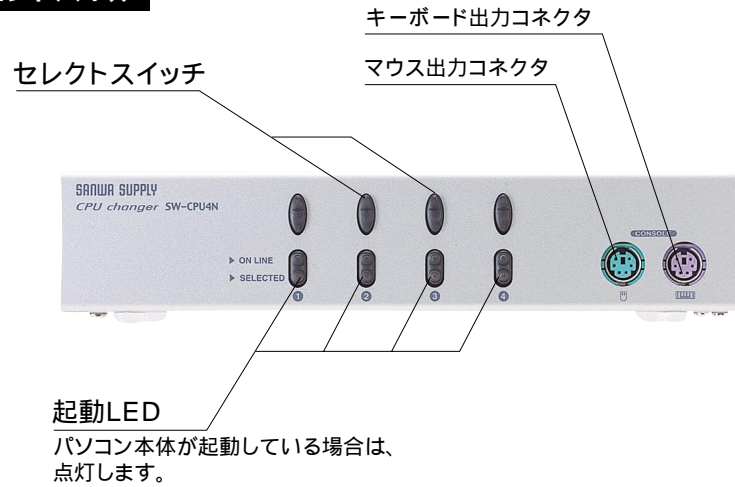
- 1つのキーボード・マウス・モニターで4台のDOS/V機を切り替えて接続できます。
ソフトウェアのインストール不要。
ホットキー・セレクトボタンの2通りで切り替え可能。
オートスキャン機能搭載で接続されたパソコンを自動で切り替えて、各パソコンを監視することが可能。
キーボードポート・マウスポートをエミュレーションしているため、再起動(リポート)時にポートを切り替えなくても完全起動が可能。(一部本体を除く。< IBM、DEIL製パソコンの一部 >)
高解像度1920×1440ドットまで表示可能。
ホットプラグに対応。パソコンの追加・削除時に切替器の電源を切る必要がないためメンテナンスが簡単。
切替時の動作確認音をON/OFF可能。

仕様

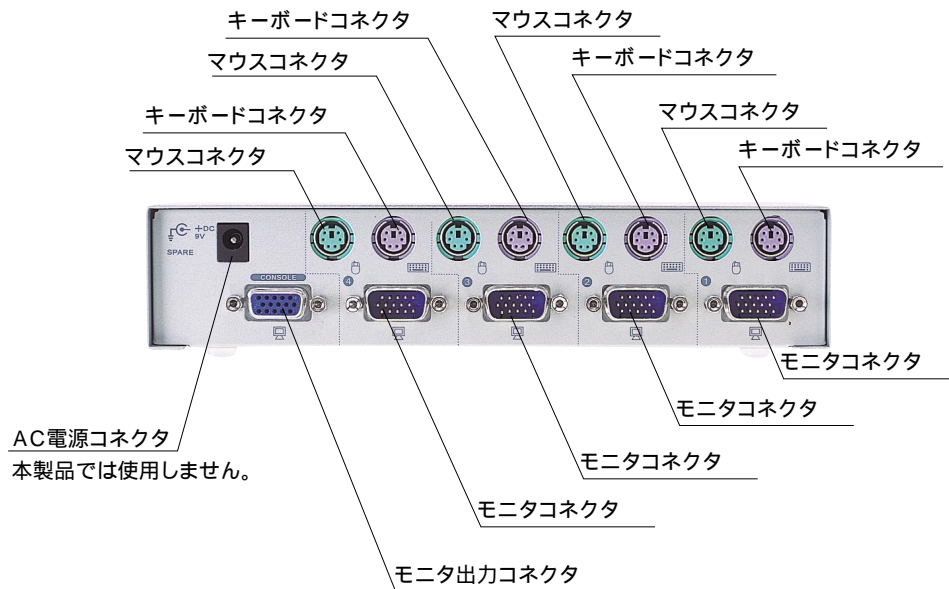
対応パソコン	DOS/V機(PS/2マウスコネクタ・PS/2キーボードコネクタ、HD(3WAY)15pinディスプレイコネクタを持つ機種)のデスクトップパソコン
対応キーボード	PS/2キーボード(ミニDIN6pinコネクタ)
対応マウス	PS/2マウス(2ボタンマウス)(ミニDIN6pinコネクタ) Microsoft Intellimouse対応 *本製品はWindows標準のマウスドライバのみ機能します。専用ドライバや機能追加のアプリケーションソフト等はインストールしないでください。
対応モニター	HD(3WAY)15pinのコネクタを持つマルチスキャンディスプレイ *解像度1920×1440ドットまで表示可能。 *DDC、DDC2B、DDC2AB対応 *高解像度を使用するとご使用のモニターによっては画質が悪くなる場合があります。 *液晶モニターの多くはマルチスキャンモニターではありません。 *液晶モニターをご使用になる場合はPC側の設定でリフレッシュレート(走査周波数)を表示可能な値に設定してください。変更方法は各モニターの取扱説明書をご覧ください。
対応OS	Windows XP・Me・98SE・98・95・3.1、Windows2000、WindowsNT4.0、Linux(セレクトボタン切替のみ対応。カーネルのバージョン・ディストリビューションの仕様により一部対応しない場合があります。)
切替方式	電子式制御 本体セレクトスイッチ ホットキー切替(「Ctrl」キーを2回押す *ただし同じCtrlキー) オートスキャン(「Scroll lock」キーを2回押す)
消費電力	DC9V 300mA(最大) *PS/2キーボードポートより供給
操作耐久温度	5~40
操作耐久湿度	0%~80%
サイズ	W200×D75×H45mm
重量	640g
付属品	CPU切替器本体×1 切替器-パソコン本体接続用ケーブル(1.2m×2、1.8m×2) 取扱説明書(保証書付き)×1

各部の説明

フロントパネル

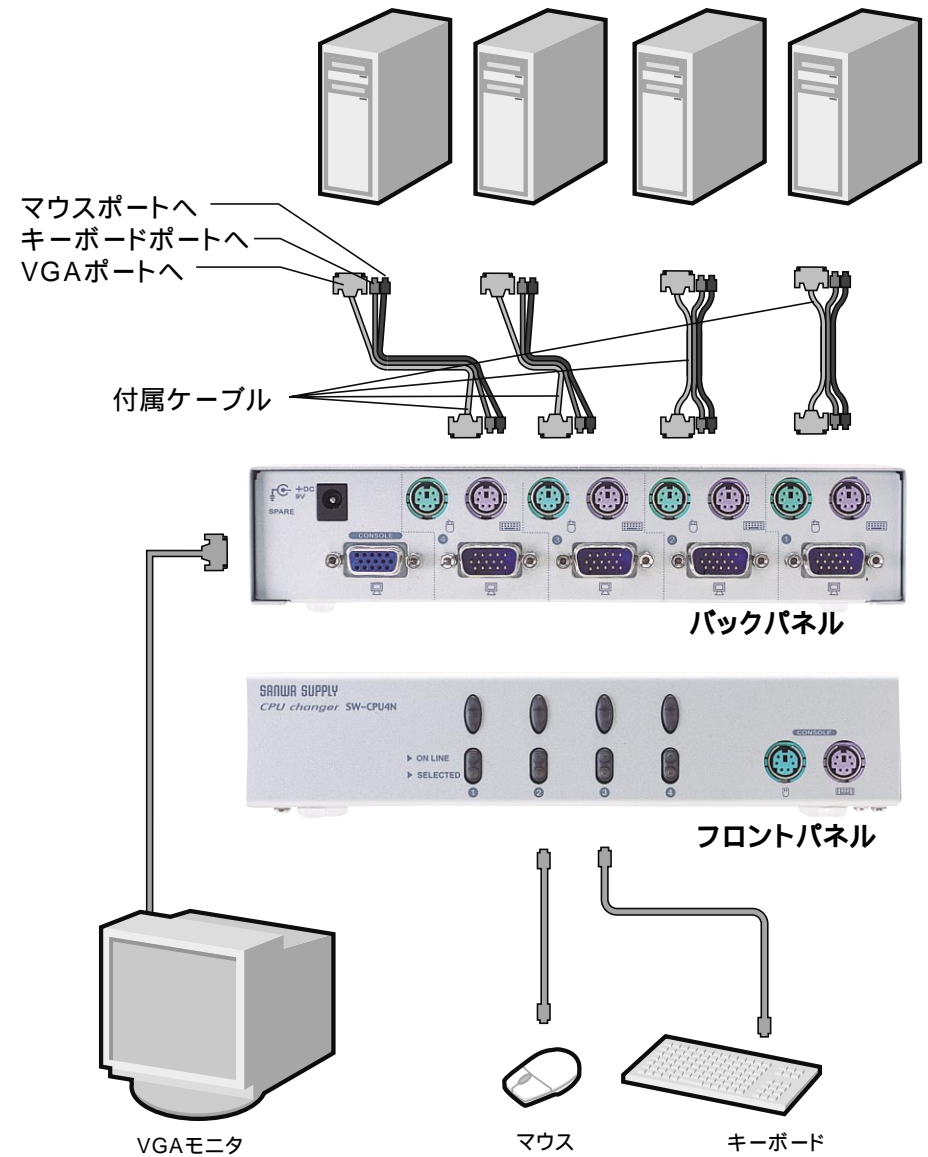


リアパネル



接続図

接続する前に、接続する全ての機器の電源をOFFにしてください。
付属の接続ケーブルを使ってコネクタ部に正しく接続してください。
マウスポート、キーボードポートを間違わないようにご注意ください。



切替方法

- 1)セレクトスイッチによる手動切替
前面パネルにセレクトボタンがあります。セレクトボタンを押すことでポート1とポート2を切り替えることができます。前面のLEDランプにてご確認ください。
- 2)キーボードからのキー入力によるホットキー切替。
「Ctrl」キーを2回押すと切り替わります(但し、同じ側のCtrlキー)
左側「Ctrl」キー+左側「Ctrl」キー……次のポートに切り替わります。
右側「Ctrl」キー+右側「Ctrl」キー……一つ前のポートに切り替わります。
- 3)本機にはオートスキャンの機能もあります。
「Scroll lock」キーを2回押します。
オートスキャン機能が働いている間は交互にパソコンを切り替えて表示します。
オートスキャン機能を解除する場合は一度ESCキーを押してください。
オートスキャン機能が働いている間はオートスキャン解除キー(ESCキー)、オートスキャン時間設定キー(+、-)以外はロックされます。

本製品ではオートスキャンモードの切り替え時間を調整することができます。

<方法>

オートスキャンモード中にキーボードの「+」キーや「-」キーを押すことで時間を調整できます。
変更できる時間は下記一覧をご参照ください。
現在の切替時間の確認は「Num Lock」キー、「Caps Lock」キー、「Scroll Lock」キーのLED点灯状態で確認できます。

切替時間	Num Lock	Caps Lock	Scroll Lock
5秒	OFF	OFF	ON
10秒	ON	OFF	OFF
15秒	ON	OFF	ON
20秒	OFF	ON	OFF
25秒	OFF	ON	ON
30秒	ON	ON	OFF

切替動作音(ビープ音)のON/OFF

本製品は切替動作時の確認音を任意にON/OFFできます。作業環境上に合わせてご利用ください。

<方法>

右「Shift」キーを2回押す。

もとに戻す場合も同様の操作をしてください。

使用上の注意

- 1)本製品はWindows標準のマウスドライバでのみ機能します。専用ドライバや機能追加のアプリケーションソフト等はインストールしないでください。既に専用のドライバやアプリケーションがインストールされている場合は、各パソコンよりアンインストールを行い、Windows標準のマウスドライバをご利用ください。
- 2)本製品を使用してパソコンを切り替えて使用する際は、万が一に備えてデータのバックアップをこまめにするをお勧めします。(切替時の不具合によるハングアップ、ケーブル抜け等)
- 3)キーボードパワーオン機能には対応しておりません。

トラブルシューティング

Q1) マウス(キーボード)が動かない

- A1) ・接続用ケーブルでマウスケーブルとキーボードケーブルが逆になっていませんか?
・マウスボタンに機能を割り付けられるなどの特殊なドライバ等をインストールし、使用していませんか?
本製品をご使用の際はOS標準のPS/2マウスドライバをご使用ください。
- A2) 一部のパソコンで起動時にマウス・キーボードが認識できない機種があります。(IBM製 NetVista、DELL製Optiplexなど)
回避方法としては起動時に別のポートに切替えた状態で起動させると認識できます。
例)ポート1のパソコンを起動させる。起動中はポート2に切替えておく。
これはパソコン側の仕様で、マウス・キーボードの認識タイミングがシビアなため起こる現象です。

Q2) キーボードに内蔵されているマウス用PS/2ポートを利用して使用できる?

A2) キーボード内蔵のPS/2マウスポートはご利用できません。

Q3) 画面がちらつく(にじむ)

A3) 切替器-モニター間のVGAケーブルは何mでしょうか? VGA信号は非常に劣化しやすいためできるだけ品質が良く、長さの短いケーブルをご利用ください。

Q4) Linux OSでホットキー切替は使える?

A4) Linux OSでホットキー切替使えません。セレクトボタン切替のみの対応となります。

Q5) 付属する接続ケーブルよりも長いケーブルはある?

A5) あります。オプションで1.8mと3mの接続ケーブルがありますのでそちらをご利用ください。

- ・SW-KB180 CPU自動切替器接続ケーブル(1.8m) ¥3,800
- ・SW-KB300 CPU自動切替器接続ケーブル(3m) ¥6,800